

公立大学法人前橋工科大学広報戦略

1.趣旨

前橋工科大学の広報戦略は、本学の特徴的な教育研究や取組みを、学内外に積極的にわかりやすく発信することにより、本学の知名度を高めるとともに、市民や地域社会に対する説明責任を果たすことを目的とする。

2. 広報の基本方針

平成9年に設立された本学は、目的において「社会の安全・安心とエネルギー・環境をはじめとする21世紀の人類が直面する様々な課題の解決に取り組み、その成果を地域と社会に還元し、社会の発展と福祉に貢献すること」を掲げており、本学独自の特徴のある教育や研究成果、社会貢献活動、法人の運営等の各種情報を積極的に発信していくことが求められている。

これらを達成し、受験生を増やし外部資金の獲得に繋がるための広報戦略の基本方針を下記に示す。

- ① 各種広報媒体を最大限活用する。
HP、大学案内冊子をはじめ、SNS等のソーシャルメディアを最大限活用する
- ② すべての教職員が広報マインドを持つ。
すべての教職員が、いわゆる広報担当者であるという意識を持ち、適切な情報を、迅速にできるだけ広く発信する。
- ③ 選択と集中
限られた予算の中で、最大の効果を発揮するため、従来から集積してきた情報等を分析し、広報ターゲットを絞り、そこへ重点的に事業を展開する。

3.具体的な方策

【基本方針①各種広報媒体を最大限活用する】 に関して

(1) 統一感のある広報

統一感のあるデザインや表現方法で発信していく。

(2) 既存広報媒体の活用

大学案内パンフレットなどの広報刊行物については、広報委員会を中心に、企画・編集を丁寧に行い、計画的に作成を進める。

ホームページについては、各種イベントの情報発信を積極的に行うとともに、閲覧者が見やすい記事の発信に努め、本学ホームページへ誘導する工夫を施す。

(3) 多様な広報媒体への拡大

ターゲットに合わせ、LINE、Instagramを始めとするSNSやその他の、プッシュ型広報が可能なソーシャルメディアを取り入れた多様な広報に取り組む。

(4) マスメディアの活用

情報発信力の大きいマスメディアの活用を促進する。

(5) 地元自治体との連携

前橋市、群馬県等の地元自治体との連携を深め、本学の広報に繋げる。

【基本方針②すべての教職員が広報マインドを持つ】 に関して

(1) 広報委員会を中心とした体制の構築

広報委員会を中心として、全学的に統一感のある広報活動を推進していく。そのために、広報委員会が他委員会の広報活動を把握し、協力を行う。

(2) 情報発信の推進

すべての教職員が、広報マインドを持ち、情報発信を意識して行動する。

(3) 大学の強みの共有

本学の強みを発掘し、広報委員会が中心となり、すべての教職員が強みを共有する。また、強みを表すスローガンを検討し、広報媒体やイベントにおいてスローガンを積極的に活用することで、大学内外に強みを売り出す。

【基本方針③選択と集中】 に関して

(1) 広報対象の明確化

広報はターゲットに対し集中して行うことが効果的である。入試広報と法人広報を明確化することで、受験生、経済界などそれぞれのターゲットに集中して広報を実施していく。

(2) 既存情報の有効活用

入学試験、オープンキャンパス等のイベントについて、受験者、参加者情報が蓄積されているため、これらを有効活用し、広報ターゲット、媒体、タイミング等を分析して行う。

また、他大学の動向、イベント等を参考にしながら、本学に即した広報を研究する。

(3) 成果の分析

各種広報の成果分析を研究・検討・実施し、つねにより効果的な広報手法を検討する。